

11月20日

生活環境部会 散歩の会

高尾山へハイキング

生活環境部会 関口三枝子

11月20日の散歩の会で高尾山へもみじ狩りに行ってまいりました。

前日は嵐のような雨風で山道がすべったりするのではと心配しましたが、当日は季節はずれの暖かさで山登りには最適でした。当日は17名の参加者で健脚の程度に合わせ3班に分かれて登りました。紅葉は山頂やケーブルカー乗り場に多くあり、日に照らされとてもきれいでした。もみじ祭りも催されていて皿回し等のイベントもあり、登山者も楽しんでいました。

嬉しい事に今回は小学1年生のお嬢さんとパパの参加でお嬢さんはスキップでもするような登り方で私達も元気をいただきました。次回の散歩の会も誘いして若い方にも参加していただきたいと思います。



11月7~11日

あいさつ運動

第十中校区地域教育懇談会が取り組んでいる恒例の4校一斉あいさつ運動が、11月7日から11日まで行われ、地域や学校・PTAのみなさんが参加し、「おはよう！」と元気なあいさつが交わされました。



お詫び

八雲住区住民会議会長 木元 巖
生活環境部会長 坂川 玲子

去る11月20日(日)八雲住区住民会議生活環境部会・散歩の会主催の「高尾山ハイキング」において、集合時間に付いての不手際がありました。参加予定の方に大変ご迷惑をお掛けしました事を、深くお詫び致します。今後このような事が無い様に、努力致します。申し訳ありませんでした。

☆☆ 平成24年新春の行事案内 ☆☆

主催 八雲住区住民会議 青少年育成部会 協力 生活環境部会

新年お楽しみ会

日時 平成24年 1月15日(日)午前10時~
場所 八雲小学校 校庭
内容 お餅つき お雑煮 正月遊びなど
八雲住区の青少年育成部会、八雲小PTA、八雲児童館、ボーイスカウトが協力し合い、毎年開催している新年の行事です。餅つきや遊びを通して、地域の絆を高めましょう。

主催 西部地区スポーツ大会実行委員会

西部地区スポーツ大会

日時 平成24年 2月5日(日)
会場 八雲体育館
内容 午前 ニュースポーツ体験
午後 ミニ運動会 (パン食い競争等)
ミニ運動会は西部地区5住区対抗戦、優勝賞品も豪華?です。みなさんの参加をお待ちしています。

主催 八雲住区住民会議 生活環境部会 協力 児童館

新一年生交通安全教室

日時 平成24年 2月20日(月)午後2時~3時30分
場所 八雲小学校
対象 来年度新一年生
内容 (1)警察官のお話し
(2)模擬信号機による横断訓練
(3)交通安全の映画
新一年生の皆さん交通マナーを身につけましょう

募集

八雲住区センターからお知らせ

八雲住区センター運営員

◇◇◇ 住民会議と一緒に活動しませんか ◇◇◇

来年度の八雲住区センター会議室の受付等を担当する「運営員」を募集します。

【締切】1月22日(日) 【面接】1月28日(土)午前
※詳細は、住区センターにある募集要項をご覧ください。

詳しくはホームページ「<http://yakumo19.net>」や、ポスターでお知らせします。

やくも住区だより No126 平成23年12月発行

発行=八雲住区住民会議広報部会 林 隆志

本誌掲載の行事は住区、町会の掲示板、ポスター、ホームページなどで案内しています。

八雲住区住民会議ホームページ <http://yakumo19.net>

やくも 住区だより No. 126



八雲住区エリア災害時対応委員会主催

11月26日

避難所運営訓練を開催

本部長 (八雲住区住民会議会長) 木元 巖

11月26日(土)災害時には第一避難場所になる八雲小学校において、八雲住区住民会議・八雲住区エリア災害時対応委員会並びに八雲住区内各町会(中根西、柿の木坂、八雲、宮前、柿の木坂第二維持会・八雲1丁目アパート住民協議会)との協力による、第9回避難所運営訓練を行いました。

今回は東日本大震災による教訓、学習をふまえ、より現実的な内容にする為、試行努力しました。机の上で考えた、訓練の為に訓練は過去のものとし、これからは本当に現実に役立つ訓練に、徹していくべきであると思います。来年は住区内皆様の、より多くのご参加をお待ちしております。

八雲小学校、各町会、消防団、目黒区防災課、八雲小PTAの皆様の御協力を感謝します。有難う御座いました。



町会別に集合して訓練スタート



応急手当やAEDの操作訓練も



仮設トイレを実際のマンホールに設置



給食・物資班がアルファ化米を調理



今回はNTT防災電話を実際に試しました

八雲住区住民会議紹介

八雲住区エリア 災害時対応委員会

災害時対応委員会事務局次長 北澤 尚文

平成16年に発足した八雲住区エリアの災害時対応委員会は、4町会と1丁目アパート自治会(当時)が話し合っ、災害発生時には行政の支援が遅れることを想定し、地域の力で避難所を立ち上げられるよう訓練するために作られた組織です。本部の他、総務情報班、避難所班、救護衛生班、給食物資班の4つの班があり、総勢は約70人です。

対応委員会では幹事会が中心となり、目黒区防災課、消防団第11・12分団、消防署、八雲小PTAと連携し、毎年秋頃に実施する「避難所運営訓練」を企画・運営しています。



今回の訓練のために開かれた幹事会



最後に全員で炊き出しを試食しました